

2012年9月20日

ロシア関連メモ 095

国際公共政策研究センター  
主任研究員 石野 務

## ロシア APEC 首脳会議



### 1. ロシア APEC 首脳会議概要

2012年9月8日、9日に、ロシアの極東に位置するウラジオストクで、日本を含む21か国が参加するAPEC首脳会議が開催された。1993年に発足したAPEC首脳会議に、ロシアは1998年から参加し、今回初めて主催国となった。

プーチン大統領は、極東地域の中心都市であるウラジオストクを主催地として選択し、総額6,600億ルーブル（約1兆6,000億円）を投資して、APEC首脳会議会場となったルスキー島とウラジオストク市内を結ぶ橋の建設など周辺のインフラ整備を含めた会場整備を行った。今回、太平洋・アジア地域の玄関口としての位置付けにあるウラジオストクを開催地とすることにより、今後の太平洋・アジア地域との経済的つながりを強化し、課題となっているシベリア・極東地域の開発の促進につなげる意向を示したものと考えられる。

8日の会議では、貿易と投資の自由化と地域経済の統合、及び交通と運輸システムが議題となり、9日の会議では食料保障と改革的成長が議題とされた。会議の内容は、世界経済が多くの課題に直面している状況においても、成長を支え、金融安定化を促進し、自信を回復するために共同で行動することを基調とする、世界経済首脳宣言に盛り込まれ採択された。

## ■2012年 APEC 首脳宣言の主な内容

### 1. 貿易・投資の自由化及び地域経済統合

- ・保護主義傾向の高まりを考慮し、2015年まで投資、製品、サービスの貿易に新たな障壁の設置や、新たな輸出制限を行うことを自制する。
- ・アジア・太平洋自由貿易圏（FTAAP）が APEC 地域経済の総合課題を推進するための主要手段であることを確認する。
- ・グリーン成長を促進し、世界的な環境問題に対応するための解決策を求める合意や、2015年末までに環境製品に課せられる関税を5%以下に削減する合意を確認する。
- ・APEC のエネルギー安全保障を強化し、エネルギー効率を促進し、持続的発展のためによりクリーンなエネルギー源を開発することを合意する。

### 2. 食料安全保障の強化

- ・食料品に関する輸出制限などが価格の乱高下を生じさせる可能性を認識し保護主義抑制の合意を再確認する。

### 3. 信頼できるサプライチェーンの構築

- ・2015年までにサプライチェーンの能力を10%向上させる目標に関する合意を確認する。
- ・地域における輸送路の多様化に関して、実業界との話し合いを促進する。
- ・経済が、天災や人災に脆弱であることを認識し、予防対策の強化、緊急事態への備え、技術的協力の重要性を再確認する。

### 4. 革新的成長を促進するための密接な協力

- ・経済成長、繁栄、雇用促進などの共通の目標のためのイノベーションの重要性を認識する。
- ・PPSTI（科学技術・イノベーション政策パートナーシップ）を支える。
- ・中小零細企業にとって重要な競争的優位性となるイノベーションの促進を支える。

## 2. ロシアにおける極東地域の位置付けなど

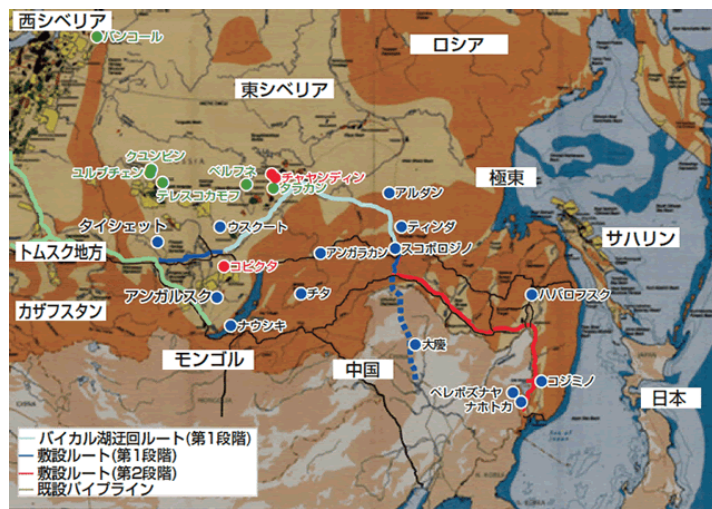


出所：ロシア大使館ホームページ

### (1) 極東地域の天然資源開発の強化

ソ連崩壊後、極東地域は人口が流出し、産業も衰退した。極東連邦管理区の現在の人口は628万人であるが、ソ連時代より2割減少したと言われている。一方、東シベリア・極東の広大な地域は、石油・天然ガスなど豊富な天然資源を有しており、ロシアの経済強化のためにその開発が推進されている。ロシア政府は、2012年6月、極東地域の発展推進を目指して「極東発展省」をハバロフスクに新設した。

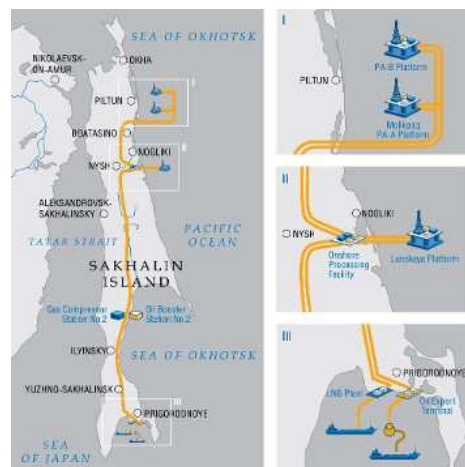
現在開発が進められているプロジェクトの一つに、東シベリア太平洋パイプライン事業がある。これは、タイシエツトからコジミノへ通じる全長4,700kmの石油パイプラインの敷設事業で、投資総額約7,000億ルーブル。2014年に完成予定である。



出所：資源エネルギー庁「エネルギー白書 2010」

また、サハリンでは、石油・ガスのハブの整備事業であるサハリン・プロジェクトが進行中である。サハリン・プロジェクト2では、年間960万トンの天然ガス生産が見込まれ、パイプラインでサハリン島南端のプリゴドロエ港に運ばれたのち液化され、日本などに出荷される。本プロジェクトは、サハリンエナジー社

(ガスプロム 50%+1 株、ロイヤルダッチシェル 27.5%-1 株、三井物産 12.5%、三菱商事 10%の共同出資会社) が事業主体となり、1999年7月より海上採掘プラットフォームで原油生産を開始。2008年8月にサハリン島を南北に横断する全長約850kmの原油・ガスパイプラインが完成し、同年12月よりプリゴドロエ港からの原油出荷を開始。さらに2009年3月からLNGの出荷を開始している。推定可採埋蔵量は、石油が約11億バレル、天然ガスが約4,800億立方メートルである。



出所：ガスプロム社ホームページ

さらに、APEC 首脳会議中の 9 月 8 日に、我が国の資源エネルギー省高原長官とガスプロム社のミレル社長が、ウラジオストク LNG プロジェクト（サハリンからウラジオストクまで天然ガスパイプラインを結び、ウラジオストクで液化するプロジェクト）に関する協力の覚書に署名を行い、ウラジオストクの液化天然ガス基地の早期建築を確認した。本プロジェクトでは、2018 年から年間約 1000 万トンの LNG 生産が見込まれ、日本や韓国などへの輸出が行われる予定である。



出所：ガスプロム社ホームページ

## (2) アジア・太平洋地域との取引の強化

プーチン大統領は、APEC 首脳会議の開催挨拶で、開催地のウラジオストクについて、「成長著しい近代的都市で、ビジネスや金融の大きな可能性があり、東洋が西洋に出会う場所。ロシアにとって広大な太平洋や南アジアへの玄関であり、この地域からヨーロッパへの最も早く効率的な経路を供給する。」と紹介し、今後の発展をアピールした。

ロシアの貿易量は、欧州地域への輸出が多く、アジア太平洋地域はまだ少ない。欧州経済が失速する中で、今後の成長も見込まれるアジア太平洋地域との貿易拡大の必要性が増している。

■2011年のロシアの国別輸出金額		
	金額(百万ドル)	割合
オランダ	62,639	12.1%
中国	35,241	6.8%
ドイツ	34,177	6.6%
イタリア	32,658	6.3%
ウクライナ	30,520	5.9%
トルコ	25,409	4.9%
ベラルーシー	24,923	4.8%
ポーランド	21,368	4.1%
米国	16,511	3.2%
フランス	14,858	2.9%
日本	14,681	2.8%
インド	6,092	1.2%
ブラジル	2,125	0.4%
その他	195,278	37.8%
合計	516,480	100.0%

出所：JETRO

■2011年のロシアの国別輸入金額		
	金額(百万ドル)	割合
中国	48,262	15.8%
ドイツ	37,678	12.3%
ウクライナ	20,122	6.6%
日本	15,007	4.9%
米国	14,603	4.8%
ベラルーシー	13,685	4.5%
イタリア	13,402	4.4%
フランス	13,278	4.3%
韓国	11,596	3.8%
英国	7,180	2.3%
ブラジル	4,389	1.4%
インド	2,786	0.9%
その他	103,617	33.9%
合計	305,605	100.0%

出所：JETRO

アジア太平洋地域との貿易強化に資する交通網整備も推進されている。2010 年に、チターハバロフスク間の自動車道路の建設が完成し、極東地域が初めて国道のネットワークにつながった。また、トランスシベリア鉄道の近代化による輸送力の向上も進行中である。

首脳会議におけるプーチン大統領の演説では、ロシアが今後、アジア・太平洋地域を含む海外へ安定した食料供給を行っていくことが述べられた。穀物の生産を増強し、現在、年間 15～20 百万トンの穀物輸出能力を、2020 年までに年間 30～35 百万トンまで増やす計

画である。

国境を接する中国との経済協力については特に意欲的である。今年の 2 月に公表された政策構想論文の中でプーチン大統領は、「中国の経済成長は脅威ではあるが中国の風をロシアの経済の帆に取り込むというビジネスの協力において、素晴らしい可能性を持っている。シベリアや極東の経済を発展させるために、中国の潜在能力を導き、両国の技術的、生産的能力を合わせる新たな協力関係をより熱心に追及すべきである。」と述べている。

### 3. コメント

ロシアは、APEC 首脳会議を極東地域のウラジオストクで開催することにより、アジア・太平洋地域に門戸を開放していくことを世界に印象付けた。本会議における演説でプーチン大統領は、8 月 22 日にロシアが加盟した WTO のルールに基づいた自由貿易を推進していくことを表明している。

ロシアのこの動きは、わが国にもビジネスチャンスをもたらすものと考えられる。すでに日本企業により開発協力が行われたプロジェクトから LNG の輸入も開始されており、我が国のエネルギー資源確保に貢献している。一方、エネルギー資源の合理的使用のための省エネや、環境との調和、プラント建設などは、今後の極東地域開発にロシアが必要とするものであるが、これらの分野について、我が国は高い技術力と豊富な実績を有している。我が国企業による事業への協力は、日本とロシアの双方にとって利益があり、今後の積極的な対応が期待される。

一方、ロシア経済に対する金融危機の影響は比較的少なく、近年個人所得の増加に伴い個人消費は順調に伸びている。極東地域の港湾整備やシベリア鉄道の再整備などにより、極東沿岸からモスクワなど中心地域への物流の環境は改善されており、ロシア市場を目指した我が国企業の新たな取り組みも、今後活性化するものと考えられる。

#### 4. 仮訳

##### (1) APEC 経済首脳会議 プーチンによる開催挨拶

皆さん、会議の開催に当たり、ロシアのウラジオストクに歓迎申し上げます。

初めに、私たちの仲間の一人である、オーストラリア首相の家庭に御不幸があったこと、ご尊父が亡くなられたことをお伝えいたします。私は皆さんを代表して、首相とご家族にお悔やみを申し上げ、オーストラリアの代表である通商大臣を歓迎申し上げます。

もう一度、皆さんを、150年間にわたりロシア極東の本拠地であったウラジオストクに歓迎申し上げます。ウラジオストクは、成長の著しい近代的な大都市で、ビジネスや金融の大きな可能性があり、東洋が西洋に出会う場所です。ロシアにとって広大な太平洋や南アジアへの玄関であり、それはアジア・太平洋地域の皆さんに開かれ、この地域からヨーロッパへの最も早く効率的な経路を供給します。

皆さん、記念すべき第20回APEC経済首脳会議は、極東連邦大学の建物で開催されます。喜ばしいことに、皆さんの幾人かにこの開催場所を気に入ったと言って頂いています。この偉大なイベントの開催場所を検討するに当たり、私たちは、機会を利用してここを発展させるために、ウラジオストクを選びました。

私たちは、大学のキャンパスや建物を建設しましたが、この会議の終了後すぐに、これらは大学や、若い人々、学生や研究者に手渡されます。私は、大学が、ロシア極東ばかりでなく世界中の若者や学者や研究者の教育や知性の中心となることを望みます。私は、この機会を利用して、皆様の学生や研究者を招待し、勉強や教育をして頂きたいと思います。また、私は、ここにいらっしゃる皆さんに公式の招待状を送り、この大学の学生たちの前で、地域や世界の将来についての展望について語って頂きたいと考えています。私は、皆さんがこれに興味を示していただくと考えています。そして、ここで学習する若者たちが、その機会を非常に感謝すると思います。

今日の総会には、2つの議題があります。1番目が貿易と投資の自由化と地域経済の統合です。2番目が交通と運輸システム、および地域のインフラの改善です。明日は、食料保障と革新的成長について話し合います。

私たちの最初の議題、貿易と投資の自由化と地域経済の統合について少し話します。この議題は、世界経済の回復が怪しくなっている今日の困難な経済情勢の下で、私たちにとってとても妥当なものです。私たちは、貿易やサービスを拡大し、資本の流れを引き上げ

ることでは、負の傾向を克服することができません。開かれたマーケットや自由貿易の基本原則に従うことが重要です。

ロシアは、皆さんがご存知のように、WTOの正会員になりました。私はロシアがこの国際的な機関に加盟する際に、皆さんから頂いた揺るぎない援助に感謝いたします。

皆さんと共に、私たちは、APEC空間を含む地域レベルや、全世界レベルでの貿易におけるより自由な規則やメカニズムの策定に貢献する決意です。最優先の目標は、伝統的であれ新たなものであれ、全ての形式の保護主義と対決することです。

ロシアは、この分野の規則について協調的な原則を策定し、環境についての政策措置の監視を導入することを提案します。環境に優しい製品の関税の引き下げについての私たちの議論を実施していくことは簡単なことではありません。2011年にホノルルで定められたAPECサミットの決議に沿って、この関税は2015年までに少なくとも5%引き下げられなければなりません。私たちは、そのような製品のリストを作成することにより、実質的に進展させています

重要なことは、APECメンバーが、APECの根本的な協調的原則の精神に則って策定された目標に向かって動き続けることを決意すべきことです。私は、今日の会議のために熱心に働かれた専門家に感謝すべきであると思います。その結果としてバランスのとれた合意が行えることとなりました。私たちの会議は、これらの合意によって、結果を残すことができるのです。

2国間や多国間の自由貿易の契約の透明性を高めることが、自由化を促進します。私たちの主導により、この種の契約に透明性についての章が追記されるようになり、全ての優先的な契約について相当な情報を開示することが義務となっています。

投資の自由化に特別注意を払い、地域のビジネス環境を改善することも重要です。私たちの見解では、その為には、法廷に行く前の段階での国際的な紛争解決メカニズムを向上させることが有益です。私たちは、そのようなメカニズムをAPEC全域で推進していきます。

地域的統合について一言申し上げます。特に、WTOドーハーラウンドの貿易合意が何年にもわたって遅延している現在、これは将来的に期待できるものです。行動して障害を取り除くことにより、アジア・太平洋地域全体と、全世界の経済に活力に満ちた発展を促進することができます。

壁ではなく橋を築くことが重要なのです。私たちは、大きな統合に向かって努力を継続し、地域的な組織間の会話を広げていくべきです。ロシアはすでにその方向に向かって動いています。これがまさに私たちが旧ソビエト連邦の地域で行っていることなのです。

皆さんは、私たちの統合への努力について聞かれていると思います。私は、CIS（独立国家共同体）における自由貿易ゾーンや、ロシアとベラルーシーやカザフスタンの間の関税同盟や共通経済圏について話します。私は、地域の統合に全ての利益を得ながら、より効率的なやり方で、いかに貿易や投資の自由化を促進してきたのかについて意見を交わしてもよいと思っています。

## (2)APEC ビジネスサミット 本会議におけるプーチン演説



この会議や、すでにサミットと並行して開始された個別会議のための準備に当たり、私は、テレビでの皆さんの討論を聞き、司会者が討論を巧みに進行するのを拝見いたしました。私は、これに感謝いたします。皆さんが討論していた課題は重要であり、興味深く、今日的なものでした。実際、私たちが今日ここに集まっているのも、それらについて話し合うためであります。

国家のリーダーばかりでなく、実業界や、商業や工業のリーダーも集まるということが、このサミットの普遍的な伝統になりつつあります。これが、まさしく APEC サミットなのです。これが、政治や経済に実務レベルで携わっている人々の間に、素晴らしい共生を生み出します。我々は、お互いの話を聞き、面と向かって、国家や実業界が直面している課題について話し合うことができます。私は、今日あるいは今後行われる討論が、効果的な開発手段や、特に私たちが暮らし働いている地域の国際的な経済の発展に、相当な衝撃を与えるような提案を、私たちが見つけることの助けになることを望みます。

すでに述べたように、ビジネスサミットは、APEC フォーラムに欠くことのできない部分です。よく知られた数値を示させていただきます。APEC の経済規模は世界の GDP の 55% を占め、世界貿易のほぼ半部、そして、累計直接投資の約 45% を占めます。しかし、これらよりも重要なことは、国際的な経済の困難にも拘らず、アジア・太平洋地域は、過去 20 年間に最も高い成長率を達成し、金融、投資、科学、そして技術的な潜在力を構築したことです。この経済的なリーダーシップは、私たち全員に共通の責任を課していますが、今



日の世界的に不安定な経済の状況において、より責任が重くなっています。もちろん、私たちは、地域の先導的な国の成長率が落ちているなど、アジア・太平洋地域についても懸念があることを認識しています。成長率の低下は一つのことですが、成長率の低下に気を取られずに、私たちが持っている成長を保つべきです。

アジア・太平洋地域の成長率は、他の振興経済の成長率よりも高い水準に留まっています。しかし、課題はあります。皆さんもご存じのように、金融セクターや金融市場の不安定さが、経済成長を抑制しています。残念なことに、新興国の失業率が増加していることも事実です。私たちは、他の国々と同様に、ここロシアでもその影響を感じています。金融や為替市場における急激な変動や、輸出需要の停滞は、世界の全ての国々にとって疑いもない課題です。一方、この状況の源は、まだ解決が必要な状況であり、現在の状況が長引く可能性もあります。

一方、私たちが楽天的になれる事項もあります。経済の中心的な担い手は、ルールを順守し、予期できない結論を招くような、無責任で一方的な行動はとっていません。この点において、APEC のようなフォーラムは大きな助けとなります。もちろん、これらの課題は、G8 や G20 でも議論されますが、私たちはここでも話し合います。達成される発展は、私たちの共同の努力の成果なのです。

危機の最悪の時に、私たちは、一方塞がりの保護貿易主義や厳しい貿易戦争の方向に向かおうとする傾向を回避し、共通の危機回避策を策定し、金融規制システムの改革という長期的な課題に継続して取り組んできました。今私たちが必要なものは、新たな取り組みや、新たな経済復興モデルであることから、今日私たちが直面している課題は、おそらく私たちが危機の以前の段階に対処したものよりもより複雑なものとなっています。

世界経済の様相は、私たちの目の前で変化しています。今後 20 年間に、新興諸国の経済成長率は、先進諸国のそれをはるかに上回ることでしょう。これは、今では明白な事実です。これが、次第に、貿易や資金の流れを変えていきますが、これは、世界の変換プロセスの一面でしかありません。これらの変化は明らかに、より深い影響をもたらすのです。

世界は、新たな経済や、技術、地政学の時代に入っています。この変革は、長期間で、複雑であり、ある者にとっては痛みを伴うものです。多くの慣れ親しんだアプローチには見直しが必要になります。宣言を行う代わりに、私たちが今日の生活に必要とするのは、現実主義や実際の行動です。従いまして、危機の試練の間に、地域経済の統合事業がそのような推進力を得たのは偶然ではありません。特に WTO 内の方針の困難さや、ドーハラウンドの行き詰まりを前にした際に、これらは、私たちに前途有望な機会を開く積極的な進展でした。

私たちは、共通の理解と相互利益の尊重の上に築かれた地域統合は、公開市場や自由貿易の基本原則を守ることに重要な役割を果たし、世界経済における力強い成長に勢いを与えることが可能であり、またそうすべきであると考えています。さらに、APEC や、NAFTA（北米自由貿易協定）、EU、近年旧ロシア連邦圏内で発足したヨーロッパ共通経済空間などの大きな地域統合組織間の話し合いが、世界貿易や投資規則、規制を改善させる良い基盤になるでしょう。国際的な交渉プロセスを活性化し、地域からそれを開始し、地域と地方の間の対話メカニズムや拡大された統合地域を作り上げることが重要です。これが、私たちが、ロシアの活発な関与の下に、ユーラシア経済統合を発展させ、CIS（独立国家共同体）に自由貿易圏を築き上げたアプローチです。

私たちは、最近、CIS において自由貿易圏の契約に署名しました。そして、今ではほとんどすべての国がこれを批准しています。私たちは、先ほど申し上げたように、関税同盟や、共通経済空間を作りました。これが、旧ソ連の 3 つの国、ロシア、カザフスタン、ベラルーシをまとめたのです。これらの措置は、経済危機がもたらした課題への共通の対応であっただけでなく、APEC 経済への共通のプロジェクトに新たな機会をもたらすものです。

私たちは、関税同盟とニュージーランドの間で、自由貿易契約について話し合いをしています。ベトナムとの間の類似の共同報告も作成されました。この種の他の話し合いも可能です。私が先ほど申し上げた 3 国の関税同盟や共通経済空間と、特別な貿易や経済の関係を構築することについて興味を示している国が、アジア・太平洋地域にいくつもあります。

ところで、ここウラジオストクサミットの場所は、ロシア、ベラルーシ、カザフスタンという 3 つの統合パートナーが統合された場所でもあります。私たちは、すでにパートナーと共にユーラシア経済統合の設立に着手しています。これは、より超国家的な機能や、調整マクロ経済、技術、金融政策に関与する、より高度な段階の統合です。私たちの目的は、地域開発の強力な中心を築くことです。ユーラシア経済統合は、将来、欧州とアジアを結びつけるものになり得ます。

私は、今、世界の異なった地域の間には橋を架けることの大切さを強調させて頂きたいと思います。この点について、私は、私たちの優先的な仕事の一つは、世界や地域の市場を開放することだと考えています。私たちは、一つの解決方法しかないという思い込みによる高い価格から脱却します。保護主義という魅力的な薬によって一時的に苦痛を和らげることはできますが、それは経済全体を治癒することをやめさせ、貿易や投資の機会を制限

します。

2009年の経済危機のピーク時に、世界貿易は12%落ち込んだことを思い出してください。これは、1945年の第2次世界大戦終了時以来、最も大きな収縮です。これは、もちろん、第一に金融市場の崩壊の結果でありましたが、同時に、保護主義的手段による価格の上昇もあり、結果的に私たちはそれを支払わなければなりませんでした。

政府が、自国の市場や国家のビジネスを保護する権利を誰も否定しません。もちろん、政府は、特定の企業や経済分野を保護する責務も負っています。私も、経験からこれを知っていますし、ロシアもそのような手段を講じたことがあるので、どのような選択が行われるのかについて話すこともできます。例えば、2009年に、私が首相であった時期に、ロシア南部の農業機械を製造する会社を訪問しました。敷地に着いた時に、完成品が至る所にあるのを見ました。しかしそれを買って行く者は誰もいませんでした。この企業は停滞し、労働者は仕事がなく、製品の購入者がいなかったのです。しかし、この企業は何百、何千人という人を雇用していました。製品は至る所にあり、鉄道のプラットフォームにまで置かれ、それを動かすことはほとんど不可能でした。そのような状況では、何ができるかを自問自答します。もちろん、輸入を制限して国内の産業の利益の復活を確保する解決策などが頭をよぎります。そして実際に、私たちは、いくつかのそのような政策も取りました。私たちはそのころはWTOに加盟しておらず、そのような政策を採っても良かったのです。

EUも、特に自動車業界において、域内の企業を守るためにそのようなアプローチを取りました。ある状況においては、これは正当化されました。なぜなら、そうしなければ、国の経済が苦しむばかりでなく、世界経済も苦しむことになるからです。現実の問題が至る所にありました。実際に、私たちは、これらの種類の行動に対する、明瞭で理解しやすいルールを必要としました。私たちが正式に書面に一つのことを書いて、実際には全く別のことを行うことは良くありません。状況によって、実際に他にどうしようもないことがあることは理解しますが。

しかし、私が申し上げたように、ここでは、明瞭で理解しやすいルールが必要です。言い換えますと、私たちは細かいところまで注意を配り、危機において仕事を守るための許容できる水準の保護方策を合意する必要があります。

最も必要なことは、この地域に相互の信頼と透明性を確立することです。これは、ロシアがWTOにとるアプローチです。この組織の完全なメンバーとして、私たちは、国際貿易における公正なルールの制定に積極的に参加します。私たちは、この点において、世界の

安定に対して最も価値を持ち、敏感である特定の経済分野を、国々が保護できるようにする特別な基準を設けることが不可欠であると考えます。それらの方策は、我々が WTO 独自のルールに不足している点を修正し、機構を国際的貿易の課題を効率的に解決し新たな課題に対応することができる国際的な機構として強化することを助けるでしょう。

私は、APEC フォーラムにおける統合の課題についても、ボゴール目標に沿った将来のより自由化された貿易や投資の利益のために、ロシアが積極的に支えていくことを強調します。これは単なる宣言ではありません。私たちは、自信を持って、この地域における経済的なプレゼンスを拡大しているのです。

WTO に加盟するにあたって、ロシアは関税や非関税障壁を減らし、義務を履行し続ける必要がありました。優遇貿易の契約は、できるだけ透明性を高める必要があります。これによって私たちは、現存や懸案中の自由貿易契約におけるプラスとマイナス点を明白に理解することが可能となり、最適な統合モデルに向かって働くことが可能になります。

もちろん、貿易だけが私たちの関心の中心を占めるわけではありません。エネルギー保障、環境、そしてイノベーションが APEC の課題の中で高い位置にあります。知的財産権の保護について活発な議論が行われています。アジア・太平洋地域の交通の輪郭を発展させることもまた、疑う余地もなく重要です。貿易ルートの多様化についての APEC ビジネス諮問委員会の推奨に従って、私たちは、共通経済空間のパートナーと共に、ロシアや、ベラルーシ、カザフスタンの地政学的なインフラの可能性を利用することを提案する準備ができています。これらの 3 国の領土をちょっと見ただけでも、ここには提供されるものがたくさんあることが理解できるでしょう。私たちは、税関やその他の手続が不要な共通の経済空間を作りました。アジア・太平洋地域のビジネスに対しては、私たちの国々の経済に直接的なルートを開くばかりでなく、最適なインフラと EU との協力のための交通リンクを提供します。

私は、関税同盟や、共通経済空間の設立について触れましたが、特に重要なこと、両方の組織が WTO の原則に従って作られ機能しているということを強調いたします。私は、これがアジア・太平洋地域からのパートナーも含む経済的パートナーと、これら 3 国のマーケットにおいて自信を持って仕事を行う手助けになると確信しています。

効率的で信頼性のある物流チェーンの構築には、宇宙技術も含む近代技術の活用が必要です。ロシアは、この分野においてパートナーに対して与えることのできるものを有しています。例えば、GLONASS 全地球測位システムを、交通のハブや回路地帯に装備する可能性などです。私たちはこのシステムをずいぶん古くから築き上げ、今ではすでに全地球的なものとなっています。私たちは軌道に 2 つのバックアップ用衛星を含む 28 の衛星を配

備しており、このシステムは非常に効率的に稼働しています。

食料保障の強化は、今年のロシアが主導する APEC 会議のもう一つの優先事項でした。食料保障は、経済や社会の問題であるばかりでなく、何百万人もの人々の将来の課題でもあります。今日の会議の初めに、進行役や発言者が、昨年 1 年間だけで、150 百万人もの人が食料調達の危機に直面していたと述べ、ある専門家は、それは 200 百万人だと述べました。世界中で 10 億人以上の人々が飢えに苦しもうとしています。もちろん、私たちは、この規模の社会的、経済的問題も無視できません。

先ほど述べましたように、ロシアは、アジア・太平洋地域を含む安定した食料供給に相当の貢献を行っていきます。現在の私達の穀物輸出能力は、年間 15~20 百万トンです。ある専門家は、ロシアは 2020 年までに年間 120~125 百万トンの穀物を生産すると予想しています。これによって私たちの穀物輸出能力は、年間 30~35 百万トン、場合によっては 40 百万トンまで増えます。

もちろん、私たちは、食料輸出だけに集中しているわけではありません。私たちは、相互に農業へ投資を行い、確固とした農地を拡張し、先進技術に基づく農業分野事業の実施に共通の利益を有しています。これには、生物資源利用についての協力も含まれ、この点に関しては、太平洋の生物資源がとても重要です。私たちはみなこの太平洋に面しており、その生物資源の補充を継続することは私たちの共通の任務です。

私たちは何時でも、地域的なエネルギー協力に注目し、地域の持続可能なエネルギーバランスを確保してきました。ロシアは主要で、協調させていただきますが、信頼できるエネルギー供給者であり、重要な役割を果たしています。私たちは、ここ数年間においてこの地域で、サハリン石油生産事業のような、いくつもの画期的な事業を行ってきました。これについては、昨日ここに出席している米国のパートナーと話をいたしました。私たちの仕事に対する援助に感謝いたします。

昨日、エクソン石油の社長である Tillerson 氏が、サハリン事業の積極的な運用について話をされました。私は、これらの事業の国際的な性質を強調します。私たちは、このようなやり方を続けます。パートナーとの協力を発展させ、ロシア自身のエネルギー保障だけでなくパートナー国や全ての地域のエネルギー保障を強化します。

十分な量があり、手の届く価格で安全なエネルギー資源を利用できることは、アジア・太平洋地域や、全世界の安定した成長を確保するための基本的な条件です。

核エネルギーの平和利用についての国際的な協力は別の課題です。私たちは皆、福島の惨事を知っています。それは、私たち全員にとって大きな教訓でした。私たちは、原子力発電所の建設や運転における最も高度な安全性の要求への対応を継続します。私たちは、この分野において、アジアで、中国での発電所建設を含む複数の事業を進めています。私は、私たちの中国の友人やパートナーが、私たちの提案に満足していることを聞いて喜ばしく思っています。私は、これらの原子力分野の事業の強い国際性について述べます。

私たちは、巨額の利益や過剰なお金を求めているのではありません。私たちは、これらの巨大な国際的事業の構成要素を、それぞれのセクターで取り扱えるリーダーを確保するために、世界的な技術リーダーと協力関係を築くことを求めています。これらは費用のかかる事業で、20~30億ドルから80~100億ドルになります。施設が建設される地域の下請け業者と、事業の総費用の25~30%分の契約が行われます。これが、私たちが伝統的なパートナーとの2者間契約でとられる方法で、安全移管する事項が当然最優先になっています。これが日本や米国、オーストラリア、そしてその他の国の友人との間で私たちが話し合ったことです。私たちはこの原則に従うことを継続していきます。

ロシアは、自然災害や人的災害の監視のための地域的システムの創造を支えています。私たちは、この分野で、APECのパートナーと親密な協力を行う用意があります。エネルギー分野において、私たちは、エネルギー節約、資源の理性的な利用、GDPを資源に偏らないようにすることなどの重要な課題をおろそかにはできません。グリーン成長のモデルは、新たな技術の開発につながる道を拓けました。私は、APECフォーラムが、重要なエネルギーの課題を解決するために地域の経済をまとめ、地域のビジネスが開発に投資し、地域全体のエネルギー保障を増強する技術を拓けることを確信しています。

私が述べましたように、イノベーションは、実業界との活発な協力が期待できる重要な総合分野です。私たちはここ極東連邦大学にいてもあり、私は、特に科学や教育における協力について述べたいと思います。私たちの大学と研究機関の間のつながりを築き、学生たちに科学者と接して意見を交換することを奨励し、一般的な人的資源の開発を促進することは、私たちに共通の利益であります。徐々に共通の教育の場を創設していくというAPECの合意は、今年、次の一步を踏み出します。

APEC諸国の経済は、科学や調査、人的資源、教育の潜在力において、良く補完し合っています。私たちの繁栄は、その大部分が、この地域の新しい経済の質を達成するために、これらの競争的な優位性を活用することにおける私たちの能力に依存します。APECビジネス諮問委員会の助けを得て、APECは今年、「科学・技術政策協力」を創立し、未来の技術に関する課題について話し合う最初の会議を開催いたしました。これらの目的は、イノ

バージョンの発達のために、市場志向の良い環境を作るための条件についての議論に、ビジネスを参加させることにありました。私は、これは役に立ち有望な取り組みだと考えます。私たちは、実業界の意見やビジネスの要求や必要とするものを考慮しなければなりません。そして、私は、実業界が、科学のために、より活動的に具体的で実務的な役割を負うようになってほしいと思います。

皆さん、ロシアは、アジア・太平洋地域において欠くことのできない部分です。私たちは、シベリアや極東地域の開発において、真剣に投資を行っています。開催地であるここ極東連邦大学が、私たちが一緒に活動できる場所の一つです。この大学は、ロシアの極東の新しい科学や、教育、知性の中心を設立するための、非常に大規模な事業です。私たちは、3年間でこれを建設しました。私たちは、この種の大規模な事業は、ここで科学を復活させ、強力な新知的センターを創造することにおける、重要な取り掛かりであると考えています。

私たちは、この事業を継続していきます。このフォーラムの伝統的なモットーは、「APECはビジネスを意味する。」です。ロシア語でビジネスは「dyelo」であり、「動機」という意味があります。ですから、私は、動機や目的を持つという分別や大胆さ、洞察力が、常に私たちの役割を明確にしていくと思います。私たちは、野心的なゴールを定め、前に向かって進み、私たちの時代の課題に対処しなければなりません。私たちの共通の成功は、それにかかっているのです。

ご清聴ありがとうございました。